

平成29年度 当初予算（案）

# 主な事業の説明書

総務部  
選挙管理委員会

.....目

次.....

款	項	目	大	事業	ページ
2	1	2	16	アーカイブズ関連経費	1 - 1
2	1	10	23	雪対策推進事業費	1 - 2
2	4	50	10	大仙市議会議員一般選挙執行経費	1 - 3
2	4	51	10	大仙市長選挙執行経費	1 - 4
9	1	3	11	消防施設・設備整備費	1 - 5
9	1	5	10	防災対策費	1 - 6
9	1	5	22	空き家等緊急除排雪事業費	1 - 7

# 事 業 説 明 書

2 款 1 項 2 目 16 事業

(施策の大綱)行財政運営の効率化

(施策)アーカイブズの構築

(基本事業)公文書館の整備と利用促進

拡充

課所名：総務部 総務課

『事業名』 **アーカイブズ関係経費**

【29年度】 **12,289** 千円 【28年度】 **6,422** 千円 【増減額】 **5,867** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>12,289</b>

**1. Plan** (計画：事業の目的及び目標)

市の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等を市民共有の知的資源として、市民が主体的に利用し得るものにするのが市の重要な責務であることから、大仙市アーカイブズにおいて、特定歴史公文書等の適切な保存を図り、もって行政が適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、市の有するその諸活動を現在及び将来の市民に説明できるようにすることを目的とする。

**2. Do** (実行：これまでの実績と成果)

○大仙市アーカイブズの設置

旧双葉小学校の改修工事を完了予定 (工期：平成28年7月～平成29年2月末)

○公文書並びに古文書の整理

区分	主な作業実績	H26年度	H27年度	増減
公文書	非現用文書の評価選別	1,028 点	1,120 点	92 点
	うち歴史公文書として保存	69 点	91 点	22 点
古文書	資料調査市民ボランティア参加人数	延べ725人	延べ918人	延べ193人
	資料の目録化	1,062点	294点	▲768点
	資料デジタル画像化	88件 (33,730コマ)	2,041件 (38,607コマ)	1,953件 (4,877コマ)

**3. Check** (評価：問題と課題)

①公開史料の拡充

史料が公開可能となるまでには、書庫に収蔵する前のクリーニング作業とともに、内容についての説明情報やプライバシー等の非公開情報の有無を目録に記載するなど、ある程度の時間を要するため、当初から公開できる史料は多くないが、徐々に拡充していく計画である。

②良好な保存環境の維持

江戸～明治時代に作られた古い史料も多いため、書庫の保存環境を良好に保つことが課題である。書庫内に虫やカビ等が発生しないよう、細心の注意を払う必要がある。

③利用しやすく身近な公文書館

利用しやすい公文書館とするため、利用者が求める史料・情報にたどり着く手助け（レファレンス）を行う職員のスキルを向上させることが重要である。  
また、未来を担う子どもたちが地域の歴史を身近に感じられるように、地域学習の教材となり得る史料を紹介し利用してもらえよう、学校現場と連携していくことが課題である。

**4. Act** (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

①開館記念行事 平成29年5月3日(予定)

・式典、記念講演、施設見学会 …講師謝礼(旅費含む。) 267千円

②展示計画(案)

・常設展示 「アーカイブズとは」「市町村合併のあゆみ(明治～平成)」「絵図の世界」  
・開館企画展示 「強首地震」「東北三大地主池田家」「各地域の歴史資料・写真」

③利用者を増やす取組

・最寄駅(刈和野駅・峰吉川駅)への公用車による送迎。学校授業での館の利用。

④ランニングコスト(維持管理経費のうち主なもの) ※小種文書庫を除く。

・電気料 2,736千円 ・燃料費 1,313千円 ・委託料 2,466千円

# 事 業 説 明 書

2 款 1 項 10 目 23 事業

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 総合的な雪対策の推進

(基本事業) 雪に関する市民意識の醸成

継続

課所名：総務部 雪対策推進室

『事業名』 **雪対策推進事業費**

【29年度】 **5,324** 千円 【28年度】 **5,064** 千円 【増減額】 **260** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>5,324</b>

**1. Plan (計画：事業の目的及び目標)**

大仙市雪対策総合計画における「雪に負けない市民協働のまち・大仙」を基本理念とし、住民参画と協働により、安心して住み続けることのできるまちづくりの推進を目的に、新規事業の立ち上げや、既存雪対策事業の整備・拡充を行っていく。

**2. Do (実行：これまでの実績と成果)**

- ・市職員が一丸となって部局横断的に雪対策に取り組む体制を構築するため、27年度に雪対策に特化した部署「雪対策推進室」を設置した。
- ・27年度に2つの雪対策事業、高齢者等雪対策総合支援事業（地域包括支援センター所管）と地域提案型自治会等雪対策モデル事業（まちづくり課所管）の立ち上げを行った。
- ・雪対策を協働で取り組んでいこうという市民協働の醸成を目的として、雪シンポジウム（28年度）や除雪等合同出動式（27年度～）を開催した。

**3. Check (評価：問題と課題)**

- ・2つの雪対策事業（高齢者等雪対策総合支援事業と地域提案型自治会等雪対策モデル事業）については、利用者より事業を継続して実施してほしいと意見を受けるなど一定の効果があったものと思われる。引き続き、事業の検証作業を行い、自力では除雪することが困難な高齢者等世帯への対応や除雪の担い手不足の解消に取り組んでいく必要がある。
- ・大仙市雪対策総合計画の基本理念「雪に負けない市民協働のまち・大仙」の実現のためには、市民協働で雪対策に取り組んでいこうという市民意識をいかにして醸成していくかが課題である。

**4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)**

雪シンポジウムや除雪等合同出動式を開催し、雪対策に協働で取り組んでいこうとする市民意識の醸成を図っていくとともに、既存の雪対策事業の整備・拡充や新たな雪対策事業の検討を行っていく。

- 協働で雪対策に取り組む市民意識醸成のための経費
  - ・ 雪シンポジウムの開催 506千円
  - ・ 除雪等合同出動式の開催 44千円
- 雪下ろしの安全対策経費
  - ・ (新規) 貸出用雪下ろし安全用具 (安全帯・命綱) 435千円
- 雪対策事業の検証 66千円
  - ・ 事業改善のため、平成27年度から開始した雪対策事業の検証作業を行う。
- 効率的な道路除雪のための経費
  - ・ 除雪体制支援情報サービス委託経費 3,456千円  
(冬季の気象予報等の情報サービスを道路除雪車等の出動判断に活用する。)

# 事 業 説 明 書

2 款 4 項 50 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

新規

課所名：選挙管理委員会事務局

『事業名』 **大仙市議会議員一般選挙執行経費**

【29年度】 **108,363** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **108,363** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>108,363</b>

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

平成29年9月30日任期満了に伴う大仙市議会議員一般選挙の管理執行を行うことを目的に、同選挙における立候補者について得票数を確定させ、当選人を決定するための執行経費。

投票率：目標70%以上

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.9月執行	H21.9月執行	H25.9月執行
当日有権者数(人)	79,239	77,165	74,376
投票者数(人)	66,023	59,218	50,795
投票率(%)	83.32	76.74	68.29

3. C h e c k (評価：問題と課題)

全国的な傾向であるが、当市においても投票率の伸び悩み・若年層における投票率の低下は顕著であり問題視されている。こうした中で『投票の機会の確保』を図るため、H28年7月の参議院選挙から二つの商業施設に期日前投票所を開設した。”買い物ついで”に投票をしていく方が多く見受けられ、利便性にも繋がった。以後この商業施設での期日前投票を定着化させ、併せてFMはなび等を通じた啓発活動にも努め、投票率の向上を図っていく。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

◇告 示 日：平成29年9月予定

◇期日前投票：平成29年9月予定 6日間

◇投 票 日：平成29年9月予定 午前7時～午後7時 市内67ヶ所予定

◇開 票：投票日当日 午後8時30分～ 大曲体育館予定

※平成28年12月2日定時登録者数 男：34,055人 女：39,467人 計：73,522人

項 目	予算額 (千円)	主な使途内容
投票所経費	14,241	当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等
期日前投票所経費	8,267	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等
開票所経費	3,070	選挙長及び選挙立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場設営撤去業務等
ポスター掲示場費	34,063	ポスター掲示板購入・設置・維持管理・撤去費用、敷地提供者へ謝礼等
公費負担	36,329	選挙運動運転手賃金、燃料、ポスター印刷、ハガキ郵券代、自動車借上料等
その他経費	12,393	選挙公報、氏名掲示、演説会公営費、事務費
合 計	108,363	

# 事 業 説 明 書

2 款 4 項 51 目 10 事業

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

継続

課所名：選挙管理委員会事務局

## 『事業名』 大仙市長選挙執行経費

【29年度】 **37,072**千円 【28年度】 **9,541**千円 【増減額】 **27,531**千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>37,072</b>

### 1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

平成29年4月16日任期満了に伴う大仙市長選挙の管理執行を行うことを目的に、同選挙における立候補者について得票数を確定させ、当選人を決定するための執行経費。

投票率：目標70%以上

### 2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【投票者数・投票率の推移】

	H17.4執行	H21.4執行	H25.4執行
当日有権者数(人)	79,013	無投票	無投票
投票者数(人)	61,768		
投票率(%)	78.17		

### 3. Check (評価：問題と課題)

全国的な傾向であるが、当市においても投票率の伸び悩み・若年層における投票率の低下は顕著であり問題視されている。こうした中で『投票の機会の確保』を図るため、H28年7月の参議院選挙から二つの商業施設に期日前投票所を開設した。”買い物ついで”に投票をしていく方が多く見受けられ、利便性にも繋がった。以後この商業施設での期日前投票を定着化させ、併せてFMはなび等を通じた啓発活動にも努め、投票率の向上を図っていく。

### 4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

これまでに執行してきた選挙から得られた問題点等を検証し、執行の正確性と迅速性を高めてきた。告示日以降に行われる期日前投票、不在者投票、当日の投開票事務においても、より正確で迅速な執行を目指す。

◇告示日：平成29年4月2日

◇期日前投票：平成29年4月3日～4月8日 6日間

◇投票日：平成29年4月9日 午前7時～午後7時 市内67ヶ所予定

◇開票：平成29年4月9日 午後8時30分～ 大曲体育館予定

※平成28年12月2日定時登録者数 男：34,055人 女：39,467人 計：**73,522人**

項 目	予算額 (千円)	主な使途内容
投票所経費	14,407	当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等
期日前投票所経費	8,536	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等
開票所経費	3,070	選挙長及び選挙立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場設営撤去業務等
ポスター掲示場費	1,331	ポスター掲示場撤去費用
公費負担	5,671	選挙運動運転手賃金、燃料、ビラ印刷、ポスター印刷、ハガキ郵券代、自動車借上料等
その他経費	4,057	選挙公報、氏名掲示、演説会公営費、事務費
合 計	37,072	

# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 3 目 11 事業

(施策の大綱) 安全・安心体制の充実

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防団員の確保と資機材の充実

拡充

課所名：総務部 総合防災課

## 『事業名』 消防施設・設備整備費

【29年度】 58,166 千円 【28年度】 51,771 千円 【増減額】 6,395 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		48,400		9,766

### 1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

大仙市民の生命・財産を火災や災害から守り「災害に強いまちづくり」を目指すことを目的に、消防団が万全の体制で対応できるよう消防施設・資機材を更新・整備していく。また、大仙市消防団の再編により、消防団の管轄範囲や班編制、資機材の配備を見直したことに伴い、災害にしっかりと対応できる体制を整備する。

●目標：積載車配備台数 73台 (H27年度末) → 83台 (H29年度) ※1台を廃棄するため11台の新規導入

### 2. D o (実行：これまでの実績と成果)

・年次計画により施設・資機材を更新し災害に備えている。

積載車の整備計画 (台)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
積載車(更新)	1	3	2	5	4	4
積載車(新規導入)	1	5	6	0	0	0
所有数	73	77	83	83	83	83

※H28年度1台廃車

### 3. C h e c k (評価：問題と課題)

・消防団員が使用する資機材・設備や消防水利の老朽化が進んでいることから、引き続き点検やメンテナンス等を実施するとともに、資機材の更新計画に沿って設備の充実を図り、万全の体制を整えていく。

・平成28年4月の消防団再編で実施した班の統合と施設・資機材の整理に対応するため、積載車を効率的に配備し、火災や災害にしっかりと対応できる体制を築くことが必要である。

### 4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

●積載車中心の機動力ある体制を構築するとともに、余剰施設の解体や移設等整理を実施。

平成28年4月に実施した消防団再編による班統合や管轄区域の見直しにより機動力向上を目的に、平成28年度は5台、平成29年度は6台の積載車を新規に配備する。

また、積載車の導入に伴う格納庫の新設2棟及び解体5棟、班統合に伴うホース乾燥塔の移設3塔、地権者要望に伴う防火水槽の解体1件とそれに伴う消火栓の新設1件、新規に消火栓の設置を1件実施する。

事業種別	事業費(千円)	実施地域
小型動力ポンプ付積載車 (諸経費込)	49,970	・更新2(太田1、協和1) ・新規6(大曲3、中仙3)
格納庫新設	2,400	・大曲2
格納庫解体	861	・大曲2、西仙北1、中仙2
ホース乾燥塔移設	778	南外3→中仙2、南外1
消火栓新設	1,561	・西仙北1、協和1
防火水槽解体	2,596	・西仙北1



# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 5 目 10 事業

(施策の大綱) 安全・安心体制の充実

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 避難勧告等に関する体制整備

拡充

課所名：総務部 総合防災課

『事業名』 **防災対策費**

【29年度】 **19,705** 千円 【28年度】 **4,098** 千円 【増減額】 **15,607** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				<b>19,705</b>

**1. Plan** (計画：事業の目的及び目標)

大仙市地域防災計画に基づき、市の地域における大規模災害に対処するため、総合的かつ計画的な防災対策を行い、市民の生命、身体及び財産を保護すると共に被害を最小限に抑える。

**2. Do** (実行：これまでの実績と成果)

東日本大震災等最新の災害の教訓を生かすべく、地域防災計画を平成25年度の全面的改正から毎年、法改正に対応しながら改訂を行い、市民が安全に暮らせるまちづくりを進めてきた。  
また、災害時の本庁支所間の情報伝達体制の再構築を行うとともに、防災ラジオの導入を含めJアラート関連の市民に直接防災情報を伝達するシステムを構築するなど防災体制の充実強化を行ってきた。

**3. Check** (評価：問題と課題)

国土交通省では、近年の全国の降雨傾向を踏まえ、1,000年に1度程度起こる大雨による想定最大規模の洪水浸水想定区域図を平成28年6月に公表した。これに伴い新たな想定の下での災害対策が必要となった。  
また、平成28年4月に発生した熊本地震では、被災者の生活再建に関わる各種の側面で行政の対応が追いつかない状況が続き、罹災証明書の発行の遅れが、その典型とされるなど、行政としての課題が浮き彫りとなった。  
加えて、確実に迅速な防災情報の伝達を目指している中、老朽化が進み故障の確率が高くなるとともに、加入者の増加により、防災ネットだいせんでの情報の伝達に非常に長い時間がかかるなど、運用に支障が生じてきた。

**4. Act** (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

国土交通省の洪水浸水想定区域図の見直しに伴い避難の道標となる大仙市防災ハザードマップの改訂を行い全戸配付する。  
また、災害が発生した場合に、罹災証明の発行を初めとする被災者の生活再建に関わる各種の支援が出来る被災者支援システムを新たに導入する。  
老朽化と陳腐化の進んだ現在の防災ネットだいせんに換え、迅速な情報伝達が可能となる新しいシステムを導入する。

- 大仙市防災ハザードマップ作成費  
地域版 (A1サイズ) : 40,000部、全市版 (A0サイズ) : 1,000部 … 12,760千円
- 被災者支援システム導入経費  
導入料 … 1,724千円    サポート料 … 189千円
- 防災ネットだいせん更新経費  
システム構築業務委託料 … 1,458千円



# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 5 目 22 事業

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 総合的な雪対策の推進

(基本事業) 雪に対するセーフティネットの整備・充実

継続

課所名：総務部 総合防災課

『事業名』 **空き家等緊急除排雪事業費**

【29年度】 **4,900** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **4,900** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		<b>4,900</b>		

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

冬期間における空き家及び高齢者世帯等の巡回調査や緊急時の除排雪作業の実施により、空き家の落雪や倒壊等による通行人等への危害の未然防止と高齢者の除排雪関連の事故防止に努め、市民の安全・安心な生活の確保を図る。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

総合防災課と地域包括支援センターがそれぞれで実施していた除排雪サービス事業を一本化したことで、業務の統廃合や業務量に応じた人員配置など、効率的・効果的な事業の実施ができています。

◆作業実績

(単位：件)

年度別	施設別	空き家		高齢者世帯等	
		巡回調査	雪下ろし	巡回調査	除雪
平成27年度		2,814	7	2,103	1
		(1,407)	(7)	(2,103)	(1)

※()内は案件数

3. C h e c k (評価：問題と課題)

年々増え続けている所有者不明の空き家は、落雪や倒壊等により通行人や周辺住民へ危害を及ぼす恐れがあることから、今後も除排雪関連の事故防止と高齢者世帯の緊急時の除排雪作業の負担軽減のため、巡回調査及び除排雪作業の支援を継続して実施していく必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

◆ 事業内容

冬期間における市民の日常生活への支援と安全確保のため、臨時作業員を雇用して空き家や高齢者世帯等の巡回調査及び除排雪作業等を実施する。

【実施期間】平成29年12月～平成30年3月上旬

【対象】

- ・空き家：市内に所在する建物で、常時無人の状態にあるもの
- ・高齢者世帯等：概ね65歳以上の高齢者のみの世帯、若しくは身体障害者手帳交付を受けている者で、障害等級が2級以上の身体障害者のみの世帯又はこれらに準ずる世帯

【実施要件】

- ・空き家：放置すると倒壊や落雪等により周囲へ危険を及ぼす恐れがあるもので、所有者等が不明又は所有者等への対応を求める時間的余裕がないとき
- ・高齢者世帯等：身体上の理由等により独力での除排雪が困難で、親族又は近隣者等からの除排雪の援助が困難で玄関の開閉ができないなど緊急を要するとき

◆ 歳出内訳

・ 臨時作業員雇用経費 (8名)	4,205 千円
・ 軽自動車レンタル経費 (2台)	389 千円
・ 軽自動車燃料費	102 千円
・ 除排雪作業用道具購入経費	80 千円
・ 雪下ろし作業委託経費	124 千円
合 計	4,900 千円